

主体的・対話的で深い学び

最近の教育界では、上記に示しています「主体的・対話的で深い学び」この言葉が頻繁に出てきます。2015年以降に新しく変更され実施となつた学習指導要領の中で、「どのように学ぶか」も重視されるようになり、特にキーワードとして出されるようになつた言葉です。この学習指導要領が出され、教育現場では、グループ学習が頻繁に行われるようになり、「対話的」な学習の場面が増えてきました。本校でも授業の中にグループでの学習を出来るだけ取り入れるようにしてい

ます。なぜ、そういった学習スタイルに変革してきたかという事ですが、現代社会では、主体性はもちろんですが、他者を認め、多様性のある中で、協働的な活動が求められています。物事に対して積極的に取り組み、人々と協力して進め、様々な価値観を尊重する力が必要になっています。小学校、中学校の学習の中でグループ学習はまさにその基本となる活動になっています。昨今の大学受験の中には、そういった学習で培われたスキルを試す出題もあり、中にはグループで

学校教育の中では、テストで点数を取ることは変わらず大切ではありますが、その学習の過程がより大切だと見直されています。「どのように学んでいるか」そのスキルアップが必要になっています。その力を育む場が学校だけでなく文化体験や社会経験なのかもしれません。多くの経験値が、その力を伸ばす糧になると思います。ある学者の方はそれを「身体的文化資本」という言葉で表現されていました。その力を育む今、あらゆる経験がその子の将来の資本になつていきます。

今、子供たちに 付けたい力とは？

「レゴブロック」を組立て、その過程が評価対象といった出題も出ています。いかに協働的に共感性をもつて作業が進められているかが見られるそうです。

学校教育の中では、テストで点数を取ることは変わらず大切ではありますが、その学習の過程がより大切だと見直されています。「どのように学んでいるか」そのスキルアップが必要になっています。その力を育む場が学校だけではなく文化体験や社会経験なのかもしれません。多くの経験値が、その力を伸ばす糧になると思います。ある学者の方はそれを「身体的文化資本」という言葉で表現されています。その力を育む今、あらゆる経験がその子の将来の資本になつていきます。

学校よりお知らせ

3年生修学旅行だより 第1回 1年 避難訓練 防災学習

3年生は、5月22日（木）から九州の大分県、福岡県に修学旅行に行きました。農村民泊、平和資料館の見学など実物を目で見て耳で聞き、肌で感じてきました。本物の見学は興味を深め、今後の学習にも役立つことと思います。最終日は雨でしたが、大宰府天満宮でちょっと先の合格祈願もしてきました。北野天満宮と両手に金棒状態の受検となります。心強いですね！



全校で5月15日に避難訓練を行いました。中京消防署の方にも来ていただき、避難の様子を見てもらいました。非常にスマーズに行動できており、「すばらしい」の言葉をいただきました。ただ、100%の取り組みができたかどうかは分かりません。1年生は引き続き、「防災訓練」も23日に行いました。もしもの時には中学生の力も必要です。避難所を開設することになった時には、西ノ京中の生徒が活躍し、地域防災の力になってくれるはずでした。

2年生は、20日～23日までの4日間、チャレンジ体験を行いました。各事業所での活動は非常に疲れたと思います。支えていただいた保護者の皆様には感謝です。大変だったという感想もあれば「楽しかった」と笑顔で報告してくれる子もいます。この経験が今後の将来設計に良い影響となるよう、事後学習に進めていきたいと思います。2年生の皆さんよく頑張りました。



6月の主な行事予定

- 2日 (月) 自転車安全教室
- 7日 (土) 休日参観・
部活動保護者会
- 9日 (月) 休日参観代休日
- 11日 (水) テスト1週間前
- 18日 (水) 19日 (木) 20日 (金)
定期テスト

※テスト終了後に体育の授業で水泳が始まります。水着のご準備をお願いします。
(5日・6日の朝に水着販売があります。)